

報道発表資料

令和6年6月26日

泉佐野市市長公室内部統制室 北川

電話：072-463-1212（代表）

内線：2414（秘書課内）

窓口業務における収納金の不適切な取扱いについて

下記のとおり公表する。

記

（1）概要について

事案の概要としては、窓口で税や手数料等を収納する事務において、日々の集計の際に、伝票類より現金が多かった時は別途預かり金として保管し、伝票類より不足した時はその預かり金の一部を充てるという方法で、伝票類と現金の金額を合わせていたということが判明しました。

（2）経過について

そこで、同じような事案が無いか、6月21日付けで緊急調査を行った結果、同様の処理が行われている職場があることがわかりました。内容としましては、窓口業務の3課において、少なくとも記録のある範囲で平成7年度から運用されており、直近の5月末現在で預かり金の総額は196,611円であり、その後の動きはありません。

（3）原因について

日々の業務においては、各課とも昼頃や夕方にチェックを入れるなどしており、最終の集計時に合わない時も、その原因究明に向けて担当課では、間違いと思われる市民に連絡を取り、徹底して解決を図るなどの努力を重ねているところです。それでも、どうしても解決できない時に限り、こうした預かり金を使用されていました。

（4）今後の対応について

今回の不適切な事務処理については、改めて関係各課のヒアリングを行うとともに、この場合の会計処理をどうすればよかったのかという事務処理要領を策定してまいります。また、つり銭以外の公金等も含め現金の保管状況について、改めて不適切な処理がないか再点検を行います。

（市長 コメント）

本市職員が、公金の取扱いにおいて、日々必ず伝票と現金を合わせないといけないという意識と、それに対し、従前から預かり金対応してきたことは、「公金を取り扱っている意識を欠いていた」と言わざるを得ないものです。今回のことは、大変遺憾なことであり、市民の皆さまには信頼を著しく失墜させましたことを深くお詫び申し上げます。

今後は、職員の意識改革を推進するとともに、市民の皆さまの信用と信頼の回復に努めてまいります。